

弾道ミサイル発射に関するJアラート等を通じた緊急情報受信時の対応

兵庫県立視覚特別支援学校

| | 緊急情報受信時 | 受信後の対応 |
|-----------------|--|--|
| 幼児児童生徒が 在宅中 | ・ 自宅待機 | ・ 安全の確保が確認できるまで自宅待機 ・ 安全の確保ができれば登校 |
| 幼児児童生徒が 登下校中 | ・ 公共交通機関乗車中等については当該機関の指示による ・ 緊急情報の内容をもとに下記の行動例に基づき行動 | ・ 安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・ 安全の確保ができれば登下校 |
| 幼児児童生徒が 在校中 | ・ 学校の危機管理マニュアルに基づいた対応 | ・ 安全の確保が確認できるまで安全な場所で待機 ・ 安全の確保が確認できれば授業を再開、場合によっては下校 |

安全の確認方法

- ・ テレビ・ラジオ・インターネット等を通じて、情報収集に努め、安全の確保等について確認
- ・ 確認事項は、ミサイルの方向や弾着場所、落下物の有無、被害等

その他

- ・ 気象警報とは異なるので、混同しない。
- ・ 様々な状況が予想されるので、各自で安全の確保を優先し、適切に行動する。
- ・ 状況により、臨時休校、下校とする場合がある。

ミサイル落下の可能性のある場合にとるべき行動

| 活動場所 | 取るべき行動の例 |
|------|---|
| 屋外 | ・ 近くの出来るだけ丈夫な建物や地下などに避難する。 ・ 近くに適切な建物がなければ、物陰に身を隠すか地面に伏せ、頭部を保護する |
| 屋内 | ・ できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。 |